

令和6年度 臥龍祭（文化祭）

10月26日（土）に臥龍祭（文化祭）を実施しました。今年度のテーマは「青春謳歌」ということで、生徒会が今しかない青春を楽しんでほしいと考えて設定しました。

各学年・クラスや委員会、部活動、教科展示、ステージライブ等、工夫を凝らした展示や発表があり、ゲームやお化け屋敷、喫茶店、作品展示、お茶会などで会話が弾み、笑顔がはじける姿が見られました。今年度初の試みとして、同敷地内にある県立五泉特別支援学校村松分校のきらめき祭（文化祭）と同日開催として行い、村松分校の生徒さんや職員、保護者の方にも本校の文化祭を見てもらったり、本校の生徒や職員、保護者の方が村松分校の文化祭を見せてもらったり、自然な形で交流し、お互いに理解を深める良い機会となりました。

また、新たな試みとして、2015Miss Earth Japan(日本代表)、NPO 法人リリマリ代表、(株)Shitamichi HD 常務取締役である山田彩乃様を講師にお迎えして「日本一の子供食堂を作るまで～私は何を貫いたか～」と題して講演会を実施しました。暗かった自分が、あるきっかけで様々なことに挑戦し、自信や魅力を身に付けていったことや、変わらずに「人の成長をそばで支えたい」という思いを持ち続けていること等をお聞きして、元気や今後の人生を生きるヒントをもらった人も多くいたことと思います。



また、生徒玄関前には、生徒会企画としてキッチンカーを呼んで、ピザやたこ焼き、アイス、レモネードなどを販売してもらいました。秋晴れの気持ちの良いお天気の下、おいしそうな匂いに誘われ、行列ができるほど大盛況でした。購入した思い思いの食べ物や飲み物を食べながら、談笑する姿が見られました。



1階の中央廊下に展示されたPRポスターの部の投票では、1位に環境委員会が輝きました。「羽下修三と学校展」と題して、本校にある羽下修三の彫刻作品「秋草かおる」を一般公開し、近隣の学校にある羽下修三の作品を写真におさめて展示する企画をポスターで紹介したものです。羽下修三の似顔絵入りのポスターが好評で高得点を獲得しました。



企画の部の投票の第1位は、2年2組の「お化け屋敷」でした。入口には新聞紙に無数の赤い手形とあちらこちらに貼られたお札が怖さを引き立てていました。ルールは、暗い室内に入って3枚のお札を探してくるのですが、中からは「きゃー！」と叫び声が聞こえ、廊下にも何が起きているのかとドキドキしてくる感じでした。



多くの方に来場していただき、思い出に残る一日を過ごすことができましたと思います。ご来場いただきました皆様、ありがとうございました。

